

東京海上・グローバルペット関連株式ファンド

(為替ヘッジなし)

＜愛称 ぼちたま＞

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式 (課税上は株式投資信託として取扱われます。)	
信託期間	2017年6月30日から2022年10月12日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	東京海上・グローバルペット関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	「東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド」を主要投資対象とします。
	東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド	日本を含む世界のペット関連企業の株式(これに準ずるものを含みます。)を主要投資対象とします。
投資制限	東京海上・グローバルペット関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	・株式への実質投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド	・株式への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないことがあります。 収益の分配に充当せず、信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。	

運用報告書 (全体版)

第10期 (決算日 2020年1月14日)
第11期 (決算日 2020年4月13日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「東京海上・グローバルペット関連株式ファンド(為替ヘッジなし)＜愛称 ぼちたま＞」は、このたび、第11期の決算を行いましたので、第10期～第11期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

東京海上アセットマネジメント

東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング

お問い合わせ窓口

東京海上アセットマネジメント サービスデスク 0120-712-016

受付時間：営業日の9時～17時

<https://www.tokiomarineam.co.jp/>

原則、各表の数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
また、一印は組み入れまたは売買がないことを示しています。

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税金 込配 み金 騰落 中率	参 考 指 数 騰 落 中 率	株 組 入 比 率	純 資 産 額		
						円	円
2期(2018年1月12日)	10,149	500	5.1	117,053.45	6.6	94.9	1,680
3期(2018年4月12日)	9,747	0	△4.0	108,867.52	△7.0	97.0	1,396
4期(2018年7月12日)	10,398	700	13.9	115,524.76	6.1	95.6	995
5期(2018年10月12日)	9,893	0	△4.9	111,308.97	△3.6	92.3	737
6期(2019年1月15日)	9,188	0	△7.1	103,988.55	△6.6	97.1	614
7期(2019年4月12日)	10,137	0	10.3	118,947.82	14.4	96.2	604
8期(2019年7月12日)	10,244	300	4.0	118,799.09	△0.1	95.1	551
9期(2019年10月15日)	9,621	0	△6.1	117,476.97	△1.1	96.8	493
10期(2020年1月14日)	10,253	200	8.6	132,022.57	12.4	96.1	483
11期(2020年4月13日)	9,708	0	△5.3	106,977.02	△19.0	97.1	421

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額	騰 落 率	参 考 指 数	騰 落 率	株 組 入 比 率
第10期	(期首) 2019年10月15日	9,621	—	117,476.97	—	96.8
	10月末	9,714	1.0	121,320.19	3.3	98.1
	11月末	9,999	3.9	125,531.11	6.9	97.3
	12月末	10,346	7.5	129,735.04	10.4	98.1
	(期末) 2020年1月14日	10,453	8.6	132,022.57	12.4	96.1
第11期	(期首) 2020年1月14日	10,253	—	132,022.57	—	96.1
	1月末	10,317	0.6	128,973.81	△2.3	95.4
	2月末	9,768	△4.7	119,656.12	△9.4	97.6
	3月末	9,250	△9.8	101,820.04	△22.9	98.2
	(期末) 2020年4月13日	9,708	△5.3	106,977.02	△19.0	97.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

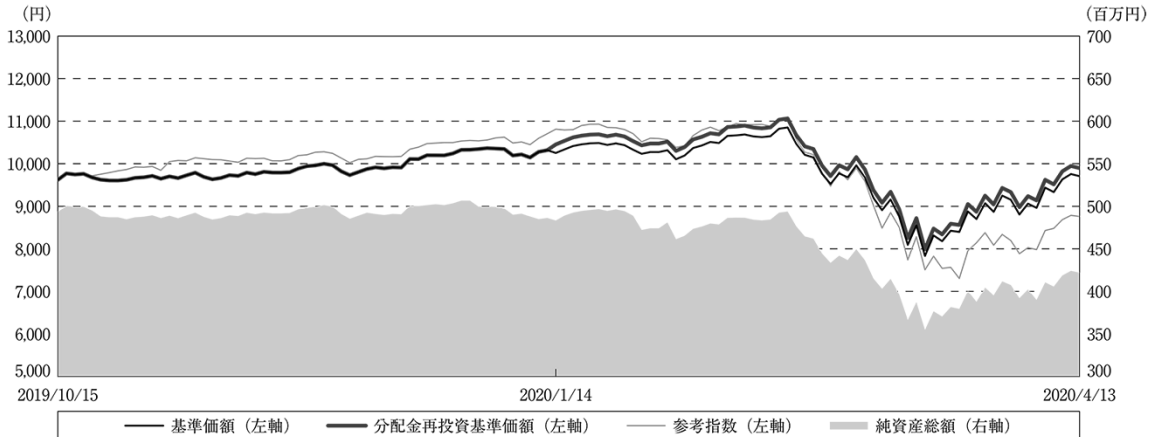
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

参考指数は、MSCI AC ワールド指数(円換算ベース)です。
参考指数は、基準価額への反映を考慮して、基準日前日のMSCI AC ワールド指数(米ドルベース)の値を基準日の対顧客電信売買相場の仲値(TTM)で委託会社が円換算したものです。

○運用経過

(2019年10月16日～2020年4月13日)

■作成期間中の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首(2019年10月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 参考指数は、MSCI AC ワールド指数(円換算ベース)です。

◇基準価額の主な変動要因

プラス要因

- ・米中通商協議の進展
- ・FRB(米連邦準備制度理事会)による無制限の量的金融緩和の実施や新型コロナウイルス対策法案可決への期待の高まり

マイナス要因

- ・新型コロナウイルスの感染拡大を受けた景気後退懸念の高まり
- ・原油価格の急落

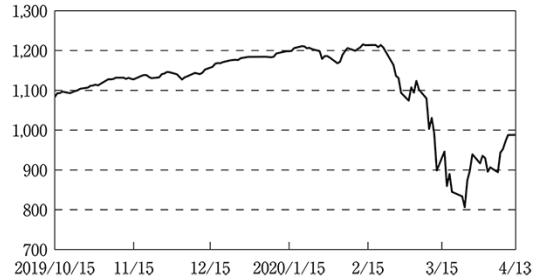
■投資環境

当作成期初は、米中通商協議進展への期待や事前予想を上回る企業決算を受けて、世界の株式市場は堅調に推移しました。また、2019年10月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で追加利下げが決定されたことや、米国の2019年7-9月期GDP（国内総生産）などの良好な経済指標の発表も支援材料となりました。その後も、米中通商協議が第1段階の合意に達したことで米中貿易摩擦に対する楽観的な見方が広がったことや世界的に低金利環境が継続するとの期待から、世界の株式市場は堅調に推移しました。

当作成期末にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、景気後退懸念が高まったことや、OPECプラス（石油輸出国機構加盟国とそれ以外の主要産油国）の協調減産交渉が決裂したことを背景に原油価格が急落し、エネルギー関連企業を中心に信用リスク懸念が高まったことなどから、世界の株式市場は大きく下落しました。その後、FRBが無制限の量的金融緩和に踏み切ったことや、2兆米ドル規模の新型コロナウイルス対策法案が可決するとの期待が高まり、世界の株式市場は反発しましたが、前作成期末対比では下落しました。

米ドル円為替レートはおおむね横ばいとなりました。米中通商協議進展への期待が高まったことなどから円安米ドル高となりましたが、当作成期末にかけては新型コロナウイルスの感染拡大を受け、景気後退懸念が高まったことから円高米ドル安が進行しました。ユーロ円為替レートは円高ユーロ安、英ポンド円為替レートは円高英ポンド安となりました。

MSCI AC ワールド指数（米ドルベース）の推移



■ポートフォリオについて

<東京海上・グローバルペット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）>

「東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド」を主要投資対象とし、高位の組入比率を維持しました。

当ファンドの基準価額（税引前分配金再投資）は、マザーファンドの値動きを反映し、2.9%上昇しました。

<東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド>

「ペットの家族化」「ペット関連消費の高級化」「新興国におけるペット需要拡大」を背景としたペット関連市場拡大の恩恵を受け、長期的に利益成長が期待できると考える銘柄を組み入れました。

セクター別では、ヘルスケア、生活必需品、一般消費財・サービスセクターの銘柄を中心に保有しました。また、ペット保険市場の拡大が期待できると考えることから、ペット保険会社などの金融セクターの銘柄の保有も継続しました。ヘルスケアセクターについては、ペット用の検査サービス会社や大手医薬品メーカーなどの組入比率を高位に維持しました。生活必需品セクターについては、新興国のペット市場拡大の恩恵を受けると考える大手ペットフード会社の組入比率を高位に維持した一方、ペットフード事業の譲渡を発表した日本の食品メーカーを売却しました。一般消費財・サービスセクターでは、ペット用品のオンライン販売の拡大を背景に高い利益成長が期待できると考える米国のオンラインペット用品小売り会社の組入比率を引き上げました。

個別銘柄では2019年7-9月期決算が堅調に推移した米国のペット保険会社TRUPANION INCや新型コロナウイルスの感染拡大によるEコマース需要の高まりを受け、米国のオンラインペット用品会社CHEWY INCの保有などがプラス寄与しました。一方、競争環境の悪化が懸念された米国の動物用医薬品卸売り会社COVETRUS INCの保有などがマイナス寄与しました。

また、株式市場の下落局面で、相対的にパフォーマンスが良好であった、ヘルスケアや生活必需品セクターの銘柄を多く保有していたことがプラス寄与しました。

以上の運用の結果、基準価額は3.7%上昇しました。

【組入銘柄の概要 (2020年4月13日現在)】

組入上位5業種

	業種	比率 (%)
1	ヘルスケア	39.0
2	生活必需品	23.3
3	一般消費財・サービス	21.1
4	金融	8.3
5	素材	5.4

組入上位10銘柄

	銘柄	業種	比率 %
1	IDEXX LABORATORIES INC	ヘルスケア	7.9
2	ZOETIS INC	ヘルスケア	7.4
3	DECHRA PHARMACEUTICALS PLC	ヘルスケア	6.0
4	CHEWY INC - CLASS A	一般消費財・サービス	5.8
5	NESTLE SA-REGISTERED	生活必需品	5.7
6	アニコム ホールディングス	金融	4.7
7	TRACTOR SUPPLY COMPANY	一般消費財・サービス	4.5
8	NEOGEN CORP	ヘルスケア	4.2
9	FRESHPET INC	生活必需品	3.9
10	SYMRISE AG	素材	3.9
組入銘柄数		36銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に占める割合です。

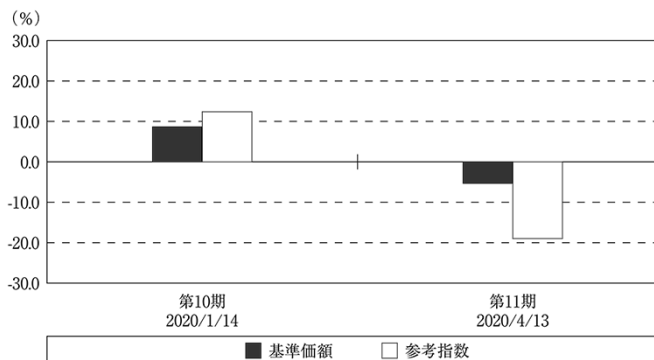
(注) 業種は、GICS (世界産業分類基準) セクター分類です。

■当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けていません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の対比です。

基準価額と参考指数の対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCI AC ワールド指数 (円換算ベース) です。

■分配金

当ファンドの収益分配方針に基づき、基準価額の水準や市況動向などを勘案して、次表の通りとしました。なお、収益分配に充てなかった収益については信託財産内に留保し、当ファンドの運用方針に基づいて運用を行います。

◇分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第10期	第11期
	2019年10月16日～ 2020年1月14日	2020年1月15日～ 2020年4月13日
当期分配金	200	—
(対基準価額比率)	1.913%	—%
当期の収益	200	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	290	290

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

＜東京海上・グローバルペット関連株式ファンド(為替ヘッジなし)＞

「東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド」を主要投資対象とし、高位の組入比率を維持します。

＜東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド＞

世界の株式市場は、米中貿易摩擦や新型コロナウイルスの感染拡大による先行き不透明感の高まりなどを背景に、当面はボラティリティ(変動性)が高い展開を予想します。株価急落を受けて割高な米国株式のバリュエーション(投資価値を測るための指標)は修正されたものの、米国企業の業績は新型コロナウイルスの影響を受けることが見込まれ、増益基調への回復時期が先送りになると考えています。

しかし、FRBはゼロ金利政策に加え、無制限の量的金融緩和政策を実施し、幅広い資産を購入することで企業の資金繰りを支援しているほか、トランプ米政権下の財政支出拡大も株価の下支え要因となり、世界の株式市場は中長期的には緩やかな上昇基調に戻ると想定しています。

以上のような見通しのもと、引き続き、「ペットの家族化」「ペット関連消費の高級化」「新興国におけるペット需要拡大」を背景としたペット関連市場拡大の恩恵を受け、長期的に利益成長が期待できると考える銘柄を中心に組み入れを行う方針です。セクター別では、ヘルスケア、生活必需品、一般消費財・サービスセクターの銘柄を中心に組み入れ、特にヘルスケアセクターについては、ペットの高齢化やペットの家族化の進展を背景に高い成長性が期待できると考えることから、組入比率を高位に維持する方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

(2019年10月16日～2020年4月13日)

項 目	第10期～第11期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	82	0.832	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(40)	(0.408)	* 委託した資金の運用、基準価額の計算、目論見書作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(40)	(0.408)	* 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.016)	* 運用財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.038	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(4)	(0.038)	* 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.003	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(0)	(0.003)	* 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	2	0.021	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.016)	* 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.005)	* 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	88	0.894	
作成期間の平均基準価額は、9,899円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

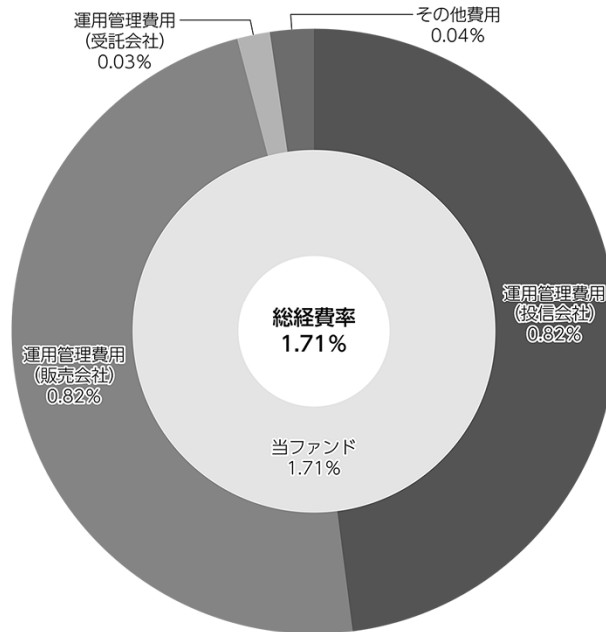
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.71%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年10月16日～2020年4月13日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第10期～第11期			
		設		解	
		口	金	口	金
		数	額	数	額
		千口	千円	千口	千円
東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド		12,849	15,877	87,310	106,153

○株式売買比率

(2019年10月16日～2020年4月13日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項	目	第10期～第11期	
		東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド	
(a)	当作成期中の株式売買金額		186,431千円
(b)	当作成期中の平均組入株式時価総額		608,215千円
(c)	売買高比率 (a) / (b)		0.30

(注) (b)は、各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注) (c)は、小数点以下2位未満を切り捨てています。

○利害関係人との取引状況等

(2019年10月16日～2020年4月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年4月13日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第9期末		第11期末				
		口	数	口	数	評	価	額
			千口	千口		千円		
東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド		423,845		349,383		421,950		

○投資信託財産の構成

(2020年4月13日現在)

項 目	第11期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド	421,950	99.6
コール・ローン等、その他	1,851	0.4
投資信託財産総額	423,801	100.0

(注) 東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(507,161千円)の投資信託財産総額(569,545千円)に対する比率は89.0%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=108.23円、1ユーロ=118.27円、1英ポンド=134.80円、1スイスフラン=112.02円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第10期末	第11期末
	2020年1月14日現在	2020年4月13日現在
	円	円
(A) 資産	495,195,241	423,801,849
東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド(評価額)	483,228,453	421,950,548
未収入金	11,966,788	1,851,301
(B) 負債	11,966,788	1,851,301
未払収益分配金	9,425,797	—
未払解約金	462,555	—
未払信託報酬	2,064,981	1,839,321
その他未払費用	13,455	11,980
(C) 純資産総額(A-B)	483,228,453	421,950,548
元本	471,289,890	434,659,204
次期繰越損益金	11,938,563	△ 12,708,656
(D) 受益権総口数	471,289,890口	434,659,204口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,253円	9,708円

(注) 当ファンドの第10期首元本額は512,845,307円、第10～11期中追加設定元本額は15,818,953円、第10～11期中一部解約元本額は94,005,056円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金が△表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

(注) 上記表中の1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第11号に規定する計算口数当たりの純資産の額となります。

○損益の状況

項 目	第10期	第11期
	2019年10月16日～ 2020年1月14日	2020年1月15日～ 2020年4月13日
	円	円
(A) 有価証券売買損益	41,106,126	△21,642,652
売買益	43,075,045	2,841,498
売買損	△1,968,919	△24,484,150
(B) 信託報酬等	△2,078,436	△1,851,301
(C) 当期損益金(A+B)	39,027,690	△23,493,953
(D) 前期繰越損益金	△19,176,940	9,396,279
(E) 追加信託差損益金	1,513,610	1,389,018
(配当等相当額)	(3,273,498)	(3,240,998)
(売買損益相当額)	(△ 1,759,888)	(△ 1,851,980)
(F) 計(C+D+E)	21,364,360	△12,708,656
(G) 収益分配金	△9,425,797	0
次期繰越損益金(F+G)	11,938,563	△12,708,656
追加信託差損益金	1,513,610	1,389,018
(配当等相当額)	(3,277,353)	(3,245,459)
(売買損益相当額)	(△ 1,763,743)	(△ 1,856,441)
分配準備積立金	10,424,953	9,396,279
繰越損益金	-	△23,493,953

(注) (A) 有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等は、消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分です。

(注) 分配金の計算過程は以下の通りです。

項 目	第10期	第11期
	2019年10月16日～ 2020年1月14日	2020年1月15日～ 2020年4月13日
a. 配当等収益(費用控除後)	1,103,026円	0円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	9,275,492円	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	3,277,353円	3,245,459円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	9,472,232円	9,396,279円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	23,128,103円	12,641,738円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	490円	290円
g. 分配金	9,425,797円	0円
h. 分配金(1万口当たり)	200円	0円

○分配金のお知らせ

	第10期	第11期
1万口当たり分配金(税込み)	200円	0円

(注) 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、分配金は全額普通分配金となります。

(注) 分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

(注) 分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合は、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

(注) 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

○ (参考情報) 親投資信託の組入資産の明細

(2020年4月13日現在)

＜東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド＞

下記は、東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド全体(469,535千口)の内容です。

国内株式

銘柄	第9期末		第11期末	
	株数	株数	株数	評価額
	千株	千株		千円
食料品 (一%)				
日清製粉グループ本社	3.2	—	—	—
化学 (40.7%)				
ユニ・チャーム	7.7	4.6	18,349	

銘柄	第9期末		第11期末	
	株数	株数	株数	評価額
	千株	千株		千円
保険業 (59.3%)				
アニコム ホールディングス	7.8	7.7	26,719	
合計	株数・金額	18	12	45,068
	銘柄数<比率>	3	2	<7.9%>

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率です。

(注) 合計欄の< >内は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率です。

外国株式

銘柄	株数	第9期末		第11期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
AMERISOURCEBERGEN CORP	1	1	8	950	ヘルスケア機器・サービス	
BALCHEM CORP	11	8	79	8,645	素材	
CENTRAL GARDEN & PET CO	20	20	63	6,844	家庭用品・パーソナル用品	
CHEWY INC - CLASS A	43	71	302	32,742	小売	
COLGATE-PALMOLIVE CO	37	24	167	18,159	家庭用品・パーソナル用品	
COSTCO WHOLESALE CORP	5	2	60	6,494	食品・生活必需品小売り	
COVETRUS INC	101	101	84	9,182	ヘルスケア機器・サービス	
Dollar General Corp	1	1	16	1,831	小売	
DOLLAR TREE INC	7	7	54	5,876	小売	
ELANCO ANIMAL HEALTH INC	69	58	142	15,379	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
FRESHPET INC	27	32	202	21,919	食品・飲料・タバコ	
GENERAL MILS INC	39	21	120	13,046	食品・飲料・タバコ	
HESKA CORP	5	5	32	3,508	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
IDEXX LABORATORIES INC	17	16	413	44,777	ヘルスケア機器・サービス	
MERCK & CO. INC.	13	17	140	15,177	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
NEOGEN CORP	38	34	220	23,820	ヘルスケア機器・サービス	
OLLIE'S BARGAIN OUTLET HOLDI	8	8	43	4,730	小売	
PATTERSON COS INC	6	6	9	989	ヘルスケア機器・サービス	
PETMED EXPRESS INC	22	37	108	11,733	小売	
PETIQ INC	74	73	188	20,376	ヘルスケア機器・サービス	

銘	柄	第9期末		第11期末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円	
JM SMUCKER CO/THE-NEW COM		3	3	33	3,660	食品・飲料・タバコ
SPECTRUM BRANDS HOLDINGS INC		9	9	35	3,887	家庭用品・パーソナル用品
TARGET CORP		9	2	20	2,255	小売
TRACTOR SUPPLY COMPANY		27	27	238	25,782	小売
TRUPANION INC		98	61	189	20,519	保険
WALMART INC		13	6	73	7,909	食品・生活必需品小売り
ZOETIS INC		30	30	386	41,803	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小 計	株 数 ・ 金 額	733	680	3,437	372,004	
	銘柄 数 < 比 率 >	27	27	—	<65.6%>	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
SYMRISE AG		21	21	185	21,891	素材
ZOPLUS AG		17	13	128	15,205	小売
小 計	株 数 ・ 金 額	38	34	313	37,097	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	<6.5%>	
(ユーロ…フランス)						
VIRBAC SA		3	6	95	11,240	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小 計	株 数 ・ 金 額	3	6	95	11,240	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<2.0%>	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	41	40	408	48,337	
	銘柄 数 < 比 率 >	3	3	—	<8.5%>	
(イギリス)				千英ポンド		
DECHRA PHARMACEUTICALS PLC		109	96	250	33,775	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PETS AT HOME GROUP PLC		868	455	124	16,768	小売
B&M EUROPEAN VALUE RETAIL SA		67	67	20	2,710	小売
小 計	株 数 ・ 金 額	1,044	618	395	53,254	
	銘柄 数 < 比 率 >	3	3	—	<9.4%>	
(スイス)				千スイスフラン		
NESTLE SA-REGISTERED		30	28	286	32,061	食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額	30	28	286	32,061	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<5.7%>	
合 計	株 数 ・ 金 額	1,848	1,366	—	505,658	
	銘柄 数 < 比 率 >	34	34	—	<89.2%>	

(注) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。

(注) 小計、合計欄の〈 〉内は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注) 銘柄ID等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しています。

東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド

運用報告書 第3期(決算日 2019年10月15日)

(計算期間 2018年10月13日～2019年10月15日)

ここに、法令・諸規則に基づき、当マザーファンド(親投資信託)の直前の計算期間にかかる運用状況をご報告申し上げます。

東京海上アセットマネジメント

原則、各表の数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。また、一印は組み入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		参考指数	株組入比率	純資産総額
	騰落	中率			
(設定日)	円	%		%	百万円
2017年6月30日	10,000	—	102,555.26	—	1,669
1期(2017年10月12日)	10,282	2.8	109,852.07	95.8	2,111
2期(2018年10月12日)	11,433	11.2	111,308.97	92.3	943
3期(2019年10月15日)	11,641	1.8	117,476.97	96.8	647

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数	株組入比率
	騰落	率		
(期首)	円	%		%
2018年10月12日	11,433	—	111,308.97	92.3
10月末	11,540	0.9	109,842.38	△1.3
11月末	11,603	1.5	112,914.56	1.4
12月末	10,398	△9.1	101,748.26	△8.6
2019年1月末	10,701	△6.4	108,085.49	△2.9
2月末	11,285	△1.3	114,436.36	2.8
3月末	11,560	1.1	114,871.32	3.2
4月末	11,861	3.7	119,829.38	7.7
5月末	11,558	1.1	111,890.59	0.5
6月末	12,074	5.6	116,035.72	4.2
7月末	12,357	8.1	118,737.22	6.7
8月末	11,811	3.3	112,398.45	1.0
9月末	11,657	2.0	116,649.33	4.8
(期末)				
2019年10月15日	11,641	1.8	117,476.97	5.5

(注) 騰落率は期首比です。

参考指数は、MSCI AC ワールド指数(円換算ベース)です。

参考指数は、基準価額への反映を考慮して、基準日前日のMSCI AC ワールド指数(米ドルベース)の値を基準日の対顧客電信売買相場の仲値(TTM)で委託会社が円換算したものです。

○運用経過

(2018年10月13日～2019年10月15日)

■期中の基準価額等の推移

期首：11,433円

期末：11,641円

騰落率：1.8%

◇基準価額の主な変動要因

プラス要因

- ・米中通商交渉の進展期待の高まり
- ・米国の利下げ観測の高まり

マイナス要因

- ・世界経済の減速懸念の高まり
- ・米国の金融政策に対する不透明感の高まり
- ・円高米ドル安などの為替要因

■投資環境

期初、世界の株式市場は、世界経済の減速懸念や米国の金融政策に対する不透明感が高まったことなどを背景に大きく下落しましたが、パウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長が金融政策を柔軟に実施していく方針を示したことにより、米国の金融政策に対する不透明感が後退したことや、米中通商交渉の進展期待の高まりなどを受けて、上昇に転じました。その後、中国の2019年3月の製造業PMI（購買担当者景気指数）などの良好な経済指標から世界経済の減速懸念が後退したことや、3月のFOMC（米連邦公開市場委員会）の結果を受け、米国の追加利上げ観測が後退したことなどを背景に世界の株式市場は上昇基調で推移しました。

期末にかけては、パウエルFRB議長の早期利下げ観測を牽制する発言を受けて米国の利下げ期待が後退したほか、米国が中国に対する関税の引き上げを表明するなど、米中通商交渉への懸念が高まったことなどから、世界の株式市場は下落する場面もありましたが、8月の中国サービス部門PMIの反発が好感されたほか、米中両国が閣僚級の通商交渉の開催で合意したことなどを背景に、米中通商交渉に対する懸念が後退したことなどから反発しました。

以上のような経緯を経て、世界の株式市場は前期末対比上昇しました。

米ドル円為替レートは、期初は世界経済の減速懸念の高まりや米国の追加利上げ観測の後退などを背景に米国国債利回りが低下し、円高米ドル安となりました。その後も、米中通商交渉への懸念が高まったことや米国の利下げ観測の高まりなどを受けて、円高米ドル安基調で推移しました。その他の通貨についても、ユーロ円為替レートは円高ユーロ安となり、英ポンド円為替レートは、円高英ポンド安となりました。

■ポートフォリオについて

「ペットの家族化」「ペット関連消費の高級化」「新興国におけるペット需要拡大」を背景としたペット関連市場拡大の恩恵を受け、長期的に利益成長が期待できると考える銘柄を組み入れました。

セクター別では、ヘルスケア、生活必需品、一般消費財・サービスセクターの銘柄を中心に保有しました。また、ペット保険市場の拡大が期待できると考えることから、ペット保険会社などの金融セクターの銘柄の保有も継続しました。ヘルスケアセクターについては、ペット用の大手医薬品メーカーなどの組入比率を高位に維持したほか、ペット関連市場の拡大に伴い利益成長が期待できると考える米国の動物用医薬品メーカーなどを新規に組み入れました。一方、業績の不透明感が強まった英国の動物病院運営会社を売却しました。生活必需品セクターについては、新興国のペット市場拡大の恩恵を受けると考える大手ペットフード会社の組入比率を高位に維持したほか、高級ペットフード事業を保有する米国の食品メーカーを新規に組み入れました。一般消費財・サービスセクターについては、ペット用品のオンライン販売の拡大を背景に高い利益成長が期待できると考える米国のオンラインペット用品小売りを新規に組み入れたほか、新たな成長戦略を発表し、



(注) 参考指数は、期首（2018年10月12日）の値が基準価額と同一となるように指数化したものです。

(注) 参考指数は、MSCI AC ワールド指数（円換算ベース）です。

業績の回復期待が高まったと考える英国のペット用小売会社の組入比率を引き上げました。一方、米国の投資会社から買収提案を受け株価が上昇したオーストラリアのペット用品小売り会社を売却しました。

個別銘柄では、堅調な企業業績が評価され株価が上昇したZOETIS INCやNESTLE SA-REGISTEREDの保有がプラス寄与しました。一方で、コスト上昇や買収したオランダ事業の不振が嫌気されたCVS GROUP PLCや競争環境の悪化から業績見通しを引き下げたCOVETRUS INCの保有などがマイナス寄与しました。

以上の運用の結果、基準価額は1.8%上昇しました。

○今後の運用方針

世界の株式市場は、米中貿易摩擦を背景とする中国経済の減速懸念や、欧米の景気見通しの不透明感が今後も継続すると想定しており、当面はボラティリティ（変動性）が大きい展開を予想します。足元で世界経済の減速懸念が高まっているものの、米国経済は個人消費を中心に堅調に推移しており、中国政府も経済政策では景気下支えを重視する方針を発表していることなどから、緩やかな経済成長が継続し、企業収益の増益基調は維持され、企業業績に沿って株式市場が上昇すると考えています。

中長期的にみても、世界経済の拡大基調が継続するなか、企業業績も拡大基調を維持すると予想しており、堅調な企業業績を受けて世界の株式市場は緩やかに上昇すると想定しています。

以上のような見通しのもと、引き続き、「ペットの家族化」「ペット関連消費の高級化」「新興国におけるペット需要拡大」を背景としたペット関連市場拡大の恩恵を受け、長期的に利益成長が期待できると考える銘柄を中心に組み入れを行う方針です。セクター別では、ヘルスケア、生活必需品、一般消費財・サービスセクターの銘柄を中心に組み入れ、特にヘルスケアセクターについては、ペットの高齢化やペットの家族化の進展を背景に高い成長性が期待できると考えることから、組入比率を高位に維持する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年10月13日～2019年10月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 13 (13)	% 0.110 (0.110)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 * 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	2 (2)	0.017 (0.017)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 * 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	6 (6) (0)	0.053 (0.051) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 * 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 * その他は、信託事務等に要する諸費用
合 計	21	0.180	
期中の平均基準価額は、11,533円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2018年10月13日～2019年10月15日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 —	千円 —	千株 9	千円 31,149
外	アメリカ	百株 318 (16)	千米ドル 1,331 (72)	百株 450 (—)	千米ドル 2,640 (72)
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	12	90	19	155
	フランス	3	52	—	—
国	イギリス	765	千英ポンド 142	985	千英ポンド 418
	スイス	—	千スイスフラン —	24	千スイスフラン 239
	オーストラリア	—	千豪ドル —	193	千豪ドル 101

(注) 金額は受渡代金です。

(注) ()内は株式分割、移転、合併等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

○株式売買比率

(2018年10月13日～2019年10月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	621,967千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	744,583千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.83

(注) (b)は、各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注) (c)は、小数点以下2位未満を切り捨てています。

○利害関係人との取引状況等

(2018年10月13日～2019年10月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年10月15日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
食料品 (10.2%)			
日清製粉グループ本社	5.1	3.2	6,592
化学 (41.6%)			
ユニ・チャーム	10.8	7.7	26,950
医薬品 (一%)			
大日本住友製薬	0.7	—	—

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
保険業 (48.2%)			
アニコム ホールディングス	11.5	7.8	31,200
合 計	株 数 ・ 金 額	28	18
	銘柄数 < 比率 >	4	3 < 10.0% >

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率です。

(注) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

外国株式

銘柄	柄	期首(前期末)				業 種 等
		株 数	当 期 末			
			株 数	評 価 額	業 種 等	
		株 数	株 数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円	
AMERISOURCEBERGEN CORP		1	1	8	884	ヘルスケア機器・サービス
BALCHEM CORP		19	11	110	11,950	素材
CENTRAL GARDEN & PET CO		94	20	56	6,114	家庭用品・パーソナル用品
CHEWY INC - CLASS A		—	43	110	12,018	小売
COLGATE-PALMOLIVE CO		57	37	256	27,844	家庭用品・パーソナル用品
COSTCO WHOLESALE CORP		6	5	148	16,128	食品・生活必需品小売り
COVETRUS INC		—	101	109	11,870	ヘルスケア機器・サービス
Dollar General Corp		4	1	16	1,747	小売
DOLLAR TREE INC		—	7	80	8,729	小売
ELANCO ANIMAL HEALTH INC		—	69	183	19,929	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
FRESHPET INC		80	27	126	13,768	食品・飲料・タバコ
GENERAL MILLS INC		—	39	210	22,837	食品・飲料・タバコ
HESKA CORP		15	5	36	3,964	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
IDEXX LABORATORIES INC		25	17	468	50,811	ヘルスケア機器・サービス
ELI LILLY & CO		17	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MERCK & CO. INC.		29	13	110	11,936	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NEOGEN CORP		38	38	246	26,767	ヘルスケア機器・サービス
OLLIE'S BARGAIN OUTLET HOLDI		14	8	46	5,087	小売
PATTERSON COS INC		20	6	10	1,105	ヘルスケア機器・サービス
PETMED EXPRESS INC		53	22	40	4,425	小売
PETIQ INC		107	74	195	21,205	ヘルスケア機器・サービス
HENRY SCHEIN INC		47	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
JM SMUCKER CO/THE-NEW COM		6	3	32	3,477	食品・飲料・タバコ

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
SPECTRUM BRANDS HOLDINGS INC	17	9	42	4,612	家庭用品・パーソナル用品
TARGET CORP	3	9	100	10,845	小売
TRACTOR SUPPLY COMPANY	39	27	253	27,443	小売
TRUPANION INC	103	98	213	23,109	保険
WALMART INC	10	13	154	16,796	食品・生活必需品小売り
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	3	—	—	—	食品・生活必需品小売り
ZOETIS INC	42	30	379	41,174	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額	849	733	3,750	406,587
	銘柄数<比率>	25	27	—	<62.8%>
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ		
BAYER AG	1	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BASF SE	1	—	—	—	素材
SYMRISE AG	23	21	179	21,511	素材
ZOPLUS AG	20	17	182	21,864	小売
小計	株数・金額	45	38	362	43,376
	銘柄数<比率>	4	2	—	<6.7%>
(ユーロ…フランス)					
VIRBAC SA	—	3	69	8,283	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額	—	3	69	8,283
	銘柄数<比率>	—	1	—	<1.3%>
ユーロ計	株数・金額	45	41	432	51,659
	銘柄数<比率>	4	3	—	<8.0%>
(イギリス)			千英ポンド		
TESCO PLC	165	—	—	—	食品・生活必需品小売り
DECHRA PHARMACEUTICALS PLC	141	109	286	39,167	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CVS GROUP PLC	302	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
PETS AT HOME GROUP PLC	458	868	195	26,683	小売
B&M EUROPEAN VALUE RETAIL SA	198	67	25	3,447	小売
小計	株数・金額	1,264	1,044	507	69,299
	銘柄数<比率>	5	3	—	<10.7%>
(スイス)			千スイスフラン		
NESTLE SA-REGISTERED	54	30	318	34,592	食品・飲料・タバコ
小計	株数・金額	54	30	318	34,592
	銘柄数<比率>	1	1	—	<5.3%>
(オーストラリア)			千豪ドル		
GREENCROSS LTD	193	—	—	—	小売
小計	株数・金額	193	—	—	—
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>
合計	株数・金額	2,406	1,848	—	562,138
	銘柄数<比率>	36	34	—	<86.8%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。

(注) 小計、合計欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注) 銘柄ID等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しています。

○投資信託財産の構成

(2019年10月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	626,880	96.3
コール・ローン等、その他	23,861	3.7
投資信託財産総額	650,741	100.0

(注) 当期末における外貨建純資産(564,082千円)の投資信託財産総額(650,741千円)に対する比率は86.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=108.42円、1ユーロ=119.53円、1英ポンド=136.63円、1スイスフラン=108.72円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年10月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	650,741,865
コール・ローン等	23,601,918
株式(評価額)	626,880,731
未収配当金	259,216
(B) 負債	2,935,836
未払解約金	2,935,827
未払利息	9
(C) 純資産総額(A-B)	647,806,029
元本	556,488,165
次期繰越損益金	91,317,864
(D) 受益権総口数	556,488,165口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,641円

(注) 当親ファンドの期首元本額は825,410,997円、期中追加設定元本額は70,830,821円、期中一部解約元本額は339,753,653円です。

(元本の内訳)

東京海上・グローバルベット関連株式ファンド(為替ヘッジなし) 423,845,175円
東京海上・グローバルベット関連株式ファンド(為替ヘッジあり) 132,642,990円

(注) 上記表中の次期繰越損益金が△表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

(注) 上記表中の1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第11号に規定する計算口数当たりの純資産の額となります。

○損益の状況 (2018年10月13日～2019年10月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	7,334,061
受取配当金	7,320,779
受取利息	34,056
支払利息	△ 20,774
(B) 有価証券売買損益	7,363,547
売買益	128,478,192
売買損	△121,114,645
(C) 保管費用等	△ 408,184
(D) 当期損益金(A+B+C)	14,289,424
(E) 前期繰越損益金	118,278,142
(F) 追加信託差損益金	10,978,168
(G) 解約差損益金	△ 52,227,870
(H) 計(D+E+F+G)	91,317,864
次期繰越損益金(H)	91,317,864

(注) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分です。

(注) (G)解約差損益金は、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分です。

○お知らせ

弊社ホームページアドレスを一部変更したことに伴い、2019年10月1日付で所要の約款変更を行いました。